

令和 7 年度病院事業会計の決算見込みについて

令和 7 年度病院事業会計の決算は、総収益が 5 7 6 億 9 千万円、総費用が 6 2 7 億 8 千万円、この結果、純損失は▲ 5 0 億 9 千万円となり、過去最大の赤字幅となった前年度から 6 億 9 千万円縮小するも 1 2 年連続の赤字決算となり、累積欠損金は 4 1 7 億 5 千万円になりました。

また、過去の施設整備のため発行した多額の企業債償還等のため一般会計から 1 5 億円、運転資金への充当のため病院事業債（経営改善推進事業） 4 9 億円を借入れ資金不足を回避するなど、依然として厳しい経営状況が続いています。

今後も、物価や賃金の上昇傾向は続くことが見込まれ、経営状況は厳しさを増していくものと考えており、引き続き、令和 7 年 3 月に策定した「千葉県立病院経営強化プラン」に基づき収益確保や経費削減など経営改善に取り組むとともに、県立病院として必要な医療提供体制を維持していくため、抜本的な経営改革について検討を進めてまいります。

1 決算見込みの概要

(単位：千円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減 額	増減率 (%)
医 業 収 益 A	38,904,976	38,173,643	731,333	1.9
医 業 外 収 益 B	18,758,997	17,491,307	1,267,690	7.2
特 別 利 益 C	31,556	15,041	16,515	109.8
収 益 計 ①(A+B+C)	57,695,529	55,679,991	2,015,538	3.6
医 業 費 用 D	58,739,703	57,556,611	1,183,092	2.1
医 業 外 費 用 E	4,026,543	3,637,656	388,887	10.7
特 別 損 失 F	14,798	263,226	▲ 248,428	▲ 94.4
費 用 計 ②(D+E+F)	62,781,044	61,457,493	1,323,551	2.2
医業収支 (A-D)	▲ 19,834,727	▲ 19,382,968	▲ 451,759	
経常収支 (A+B)-(D+E)	▲ 5,102,273	▲ 5,529,317	427,044	
純利益（損失） ①-②	▲ 5,085,515	▲ 5,777,502	691,987	

(1) 収益：前年度比20億円の増

医業収益は、こども病院と循環器病センターの入院収益、がんセンターの外来収益が増加したことなどから、7億3,133万円増加。医業外収益は、一般会計からの繰入金や、賃上げ・物価上昇支援のための国庫補助金の受け入れなどにより12億6,769万円増加。

これらにより、収益合計は前年度比20億1,554万円増の576億9,553万円となりました。

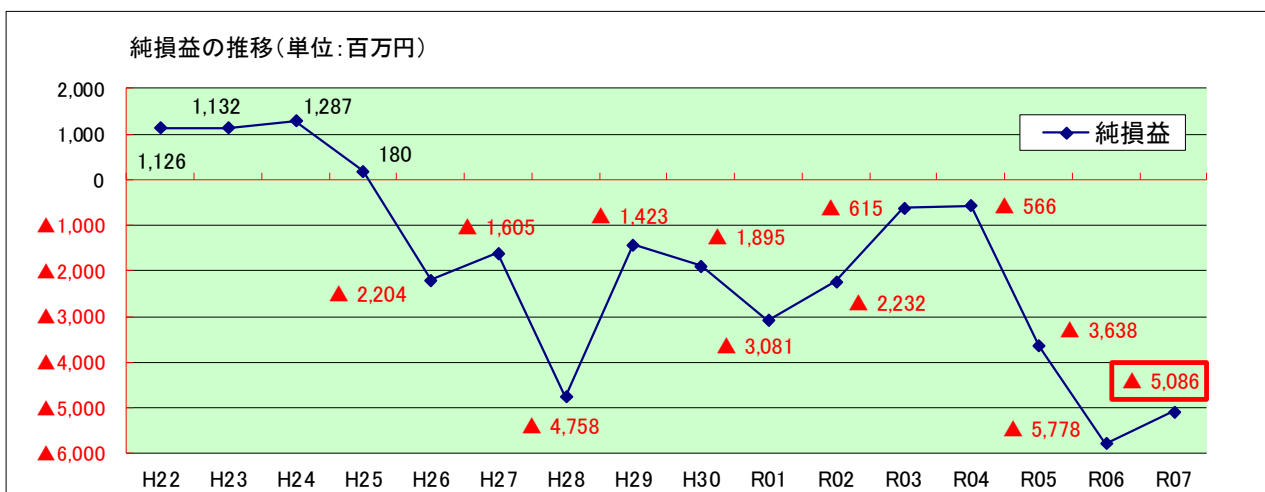
(2) 費用：前年度比13億円の増

医業費用は、給与改定に伴う給与費の増加や委託費をはじめとする経費の増加などから、11億8,309万円増加し、費用合計は前年度に比べ13億2,355万円増の627億8,104万円となりました。

(3) 損益：赤字幅は前年度比7億円縮小するが、12年連続の赤字決算

医業収支は前年度比4億5,176万円悪化し、▲198億3,473万円の赤字となった一方で、一般会計繰入金等を含む経常収支は4億2,704万円改善し、▲51億227万円となりました。

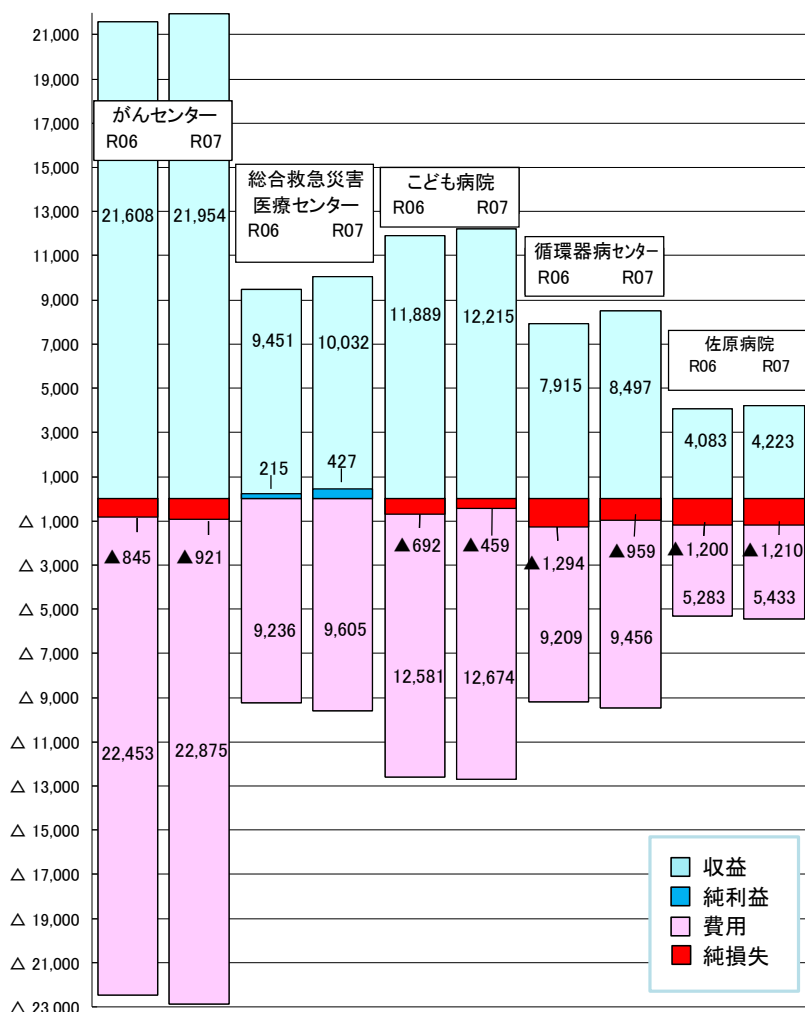
特別損益を加えた当期の純損益は▲50億8,551万円の赤字となり、12年連続の赤字決算となりました。



(参考) 貸借対照表の前年度比較表

(単位:百万円)			
	令和7年度末	令和6年度末	増減
① 資産	75,933	80,620	▲ 4,687
固定資産	66,705	70,733	▲ 4,028
流動資産	9,228	9,887	▲ 659
① 資産合計	75,933	80,620	▲ 4,687
② 負債	90,170	89,771	399
固定負債	73,251	67,018	6,233
流動負債	9,946	18,506	▲ 8,560
繰延収益	6,973	4,247	2,726
③ 資本	▲ 14,237	▲ 9,151	▲ 5,086
資本金	12,617	12,617	0
剰余金	▲ 26,854	▲ 21,768	▲ 5,086
資本剰余金	14,901	14,901	0
利益剰余金(累積欠損金)	▲ 41,755	▲ 36,669	▲ 5,086
②+③ 負債・資本合計	75,933	80,620	▲ 4,687

2 病院別損益の前年度比較（単位：百万円）



純損益（単位：百万円）

病 院	7 年度	6 年度	増 減
がんセンター	▲921	▲845	▲76
総合救急災害医療センター	427	215	+212
こども病院	▲459	▲692	+233
循環器病センター	▲959	▲1,294	+335
佐原病院	▲1,210	▲1,200	▲10

(1) がんセンター

高額薬品の使用増等により医業収益は 3.1 億円増加(154.3 億円→157.4 億円)しましたが、給与費の増加(+1.2 億円)や薬品等材料費の増加(+4.3 億円)など、医業費用が 5.5 億円増加(210.1 億円→215.6 億円)し、純損失は 0.8 億円悪化(▲8.4 億円→▲9.2 億円)しました。

(2) 総合救急災害医療センター

国庫補助金(+1.4 億円)や一般会計繰入金(+4.3 億円)の増などにより医業外収益が 5.9 億円増加(40.9 億円→46.8 億円)した一方で、給与費の増加(+1.8 億円)や賃金・物価高騰等による委託料をはじめとする経費の増加(+1.4 億円)により医業費用が 4.1 億円増加(86.5 億円→90.6 億円)し、純利益は 2.1 億円増加(2.2 億円→4.3 億円)しました。

(3) こども病院

入院患者数の増加により入院収益は増加(+1.3 億円)しましたが、外来患者数の減少により外来収益は減少(▲1.1 億円)したため、医業収益は 0.2 億円増とほぼ横ばい(85.1 億円→85.3 億円)。国庫補助金(+0.9 億円)や一般会計繰入金(+1.2 億円)の増などにより医業外収益が 2.9 億円増加(33.8 億円→36.7 億円)したため、純損失は 2.3 億円縮小(▲6.9 億円→▲4.6 億円)しました。

(4) 循環器病センター

入院患者数の増加等により医業収益が 3.9 億円増加(56.8 億円→60.7 億円)し、国庫補助金(+0.7 億円)や一般会計繰入金(+1.6 億円)の増などにより医業外収益が 1.9 億円増加(22.4 億円→24.3 億円)しましたが、給与費の増加(+1.8 億円)などにより医業費用が 1.9 億円増加(82.7 億円→84.6 億円)した結果、純損失は 3.3 億円縮小(▲12.9 億円→▲9.6 億円)しました。

(5) 佐原病院

国庫補助金(+0.5 億円)や一般会計繰入金(+0.9 億円)の増などにより医業外収益が 1.3 億円増加(8.7 億円→10 億円)しましたが、給与費の増加(+1.1 億円)や委託料等経費の増加(+0.6 億円)により医業費用が 1.3 億円増加(51.3 億円→52.6 億円)したため、純損失が 0.1 億円悪化(▲12.0 億円→▲12.1 億円)しました。

3 今後の対応

令和7年度病院事業会計の決算は、純損失が▲50億9千万円となり、過去最大の赤字幅となった前年度に引き続き、2年連続で50億円を超える赤字幅となりました。

今後とも「千葉県立病院経営強化プラン」に基づき収益確保や経費削減など経営改善に取り組むとともに、こうした厳しい経営状況を踏まえ、「千葉県立病院経営改革検討会議」を開催し、病院経営に関する抜本的な経営改革について検討を進めます。

(1) 千葉県立病院経営強化プランを踏まえた令和8年度の主な取組

- ・ 令和7年度の純損益は、千葉県立病院経営強化プランにおける収支目標を下回っていることから、集患対策を中心とする収益増、費用減に努め、早期の収支改善を図ります。
- ・ 令和8年度についても、外部コンサルタントに業務を委託し、助言などを踏まえ、経営改善に努めます。
 - 部門別業務実態検証・改善指導（がんセンター薬剤部の業務効率化のための検証と改善指導等）
 - 部門別業務実態検証・改善指導（総合救急災害医療センター薬剤部・リハビリテーション科の業務効率化のための検証と改善指導）
 - コスト削減のための委託業務検証
- ・ 物品管理業務について、これまでは病院局による一括契約としていましたが、令和8年度から契約内容を見直し、病院ごとの契約とするとともに、診療材料費の削減を図るため、新たに診療材料の購入業務を委託内容に加えました。

診療材料費の削減目標を設定して取り組んでおり、進捗確認及び削減効果の検証を行います。

(2) 千葉県立病院経営改革検討会議

厳しい経営状況を踏まえ、外部有識者による「千葉県立病院経営改革検討会議」を開催し、病院経営に関する抜本的な改革について、検討を進めます。